

教 育 改 善 提 案 書

所属学科名 (または所属課又は団体名) 放射線技術科学科

応募者氏名 (代表者氏名) 武藤裕衣・松浦佳苗

1. 提案名	ラジエーションカレッジ ～放射線に関する安全性を学び地域貢献への意識を高めよう～
2. 趣旨・理由を含めた提案内容の概要	放射線に関する正しい知識を提供し、防災対策と地域貢献の意識を高める。さらに、被ばくに対する不安相談に求められるコミュニケーションスキルを学ぶ。
3. 提案の具体的な内容	放射線は私たちの身近に存在し、完全に避けることはできません。空気や食べ物にも放射性物質が含まれており、病院では診断や治療に利用されています。 2011年3月11日の東日本大震災と津波により、福島第一原子力発電所で事故が発生し、放射性物質が放出されました。この事故により、多くの住民が避難を強いられましたが、避難した人々は慣れない環境での生活を余儀なくされました。また、避難した児童生徒がいじめを受ける問題や様々な風評被害が発生しました。事故後、除染作業が進められ、放射線の影響を減らす努力が続けられています。復興に向けた取り組みは着実に進展しており、立ち入りが制限されていた場所にも人が住めるようになっていきます。放射線についての知識を深めることで、いじめや風評被害の再発防止を行うことが必要とされています。これは学生をはじめとする地域住民の防災意識を高めることやウェルビーイングな社会を実現することにもつながります。 本提案は、体験やグループワークを通し放射線に対する正しい知識を深めることで、自らのスキルを活かして地域に貢献する方法を学び、このプロジェクトを通じて学んだ内容を他者に伝える能力を養うことを目指します。 ◎概要：90分×8回（程度）の構成とする。 1. オリエンテーションと放射線の基礎知識 2. 放射線測定器の使い方ワークショップ 3～4. 体験実習 ・身の回りの放射線測定（学内やキャンパス周辺（または北勢中勢地区）の環境測定によるデータ収集） ・データ解析と報告書作成 5. 放射線リスクコミュニケーション（講義と文献調査） 6. 振り返りと意見交換会、質疑応答

	7～8. ポスタープレゼンテーション作成と班別発表
4. 期待できる効果	・学生たちが放射線に関する知識と技術を理解し、防災対策の重要性を認識する。 ・被ばくに対する不安相談に必要なコミュニケーションスキルを身につける。 ・地域貢献の意識を高め、自らのスキルを活かして地域に貢献する方法を学ぶ。 ・啓発活動やプロジェクトを通じて、学んだ内容を他者に伝える能力を養うことができる。